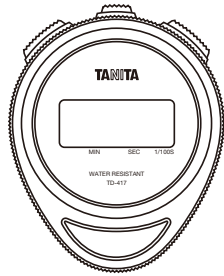


取扱説明書

保証書付

ストップウォッチ TD-417



※本書に記載されているイラストはイメージ図です。

このたびはストップウォッチ TD-417をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お願い

誤った使いかたをしますと、重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。また、必要ときにはすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

保証書

販売店様へ
ご購入時に貴店にて、保証書の所定事項(お買い上げ日、販売店様欄に捺印)をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

お客様へ
本書は、無料修理規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービス相談室に修理をご依頼ください。

※お客様の個人情報は、修理完了品の発送にのみ使用させていただきます。この間、お客様の個人情報は、第三者が不当に触れることのないよう、弊社規定に基づき、責任を持って管理いたします。

品名	ストップウォッチ TD-417
保証期間	お買い上げ日より1年
お買い上げ日	年 月 日
お客様	お名前 様
	ご住所
販売店	お電話 ()
	店名・所在地
電話	()

©2018 TANITA Corporation TD4177601(0)-1810FA

アフターサービスについて

- 保証書について
保証書は、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年です。
- 修理を依頼されるとき
・保証期間中は、弊社お客様サービス相談室にご連絡のうえ、本器と保証書をお送りください。
・保証期間が過ぎているときは、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって本器の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ご不明な点は弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社お客様サービス相談室にご連絡のうえ、本器と保証書をお送りください。
- ご贈答品などで保証書に必要事項が記入されていない場合には、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。
イ、使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
ロ、お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
ハ、火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
ニ、一般家庭以外に使用された場合(例えば、業務用としての長時間使用)の故障および損傷
ホ、保証書の提示がない場合
ヘ、保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 保証書は、日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は、再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間が過ぎている場合の修理については、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

株式会社 **タニタ**

本社・お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2
ホームページアドレス <http://www.tanita.co.jp>

お問い合わせ先
フリーダイヤル **0120-133821**
携帯電話からはフリーダイヤルにつながりません。
携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。
ナビダイヤル **0570-783551**
通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。
受付時間 / 9:00~18:00(祝日を除く月~金)
タニタ サービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀内字下田茂木添28-1

安全上のご注意

本書ではご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するためお守りいただきたいことを、次のように説明しています。本文をよくお読みいただき、本器を安全に正しくご使用ください。

警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負うおそれのある」内容です。
注意	この表示の欄は「傷害を負うおそれまたは物的損害が発生するおそれのある」内容です。
禁止	してはいけない「禁止」内容です。
必ず守る	必ず守っていただく内容です。

警告

電池や本器を乳幼児の手の届くところにおかない 誤飲やけがのおそれがあります。
電池は火中に投げない 破裂してけがをするおそれがあります。

防滴上のご注意

本器はJIS規格のIPX2(防滴性能)を満たすよう設計されておりますが、使用状況により防滴性能の維持が困難になり、破損や故障のおそれがあります。右の内容を守ってご使用ください。

注意

電池フタが外れた状態で使用しない
40℃以上のお湯や蒸気をかけない
長時間ぬれるようなところに置かない
水に浸けない

電池フタはしっかり閉じる

電池を入れる

- 電池フタの溝にコインを合わせ、浮き上がるまで反時計回りに回す。
- 電池の+側を上にして、矢印の方向から入れる。
- マークの位置に注意して、電池フタをはめる。
- 電池フタを時計回りに回して、しっかりと締める。

電池を交換する

以下のような現象が見られた場合は、電池を新しいものと交換してください。

- 表示が薄くなる
- アラーム音や操作音が小さくなったり、鳴らなくなる

※電池フタのはずしかた、電池の入れかたは、「電池を入れる」をご参照ください。
図の部分につまようじなど電気を通さない細い棒を入れて電池を持ち上げて取り出します。
※電池を取り出した後は、表示部が消灯したのを確認してから新しい電池を入れてください。

注意

禁止 指定の電池(CR2032コイン形リチウム電池)以外は使用しない
故障するおそれがあります。

必ず守る 電池は⊕⊖の方向を正しく入れる
故障するおそれがあります。

警告

電池は乳幼児の手の届くところに置かない
誤飲のおそれがあります。万一、電池を飲み込んだ場合には直ちに医師に相談してください。真夜中など、お近くの医師に相談できない場合は、以下にお電話のうえ指示を受けてください。

毒性等に関するお問い合わせ先
(公財) 日本中毒情報センター中毒110番
(大阪)072-727-2499(24時間対応)

※使用済みの電池はお住まいの市区町村の廃棄方法に従って処分してください。
※使用済みリチウム電池は、必ず端子(+/-)をセロハンテープなど粘着性の絶縁テープで覆って処分してください。

取り扱い、保管、お手入れについて

注意

禁止 絶対に分解しない
故障するおそれがあります。
過度の衝撃や振動を与えない
故障するおそれがあります。

必ず守る 本器をズボンのうしろポケットに入れない
故障するおそれがあります。
ストラップを持って振り回さない
けがや故障のおそれがあります。
ストラップを首から下げる際は、ストラップが引っ張られたり引っかからないようにする
けがのおそれがあります。
暖房器具に近いところ、温湿度の変化が激しいところ、ほこりの多いところでは保管しない
故障するおそれがあります。
アルコールや熱湯、シンナーやベンジンなどは使用しない
故障や部品の割れ・変色などのおそれがあります。
本体の汚れは柔らかい布で拭いてください。

初めてご使用になる前に

表示部に貼られている表示保護シールをはがしてご使用ください。

ストラップの長さを短くする

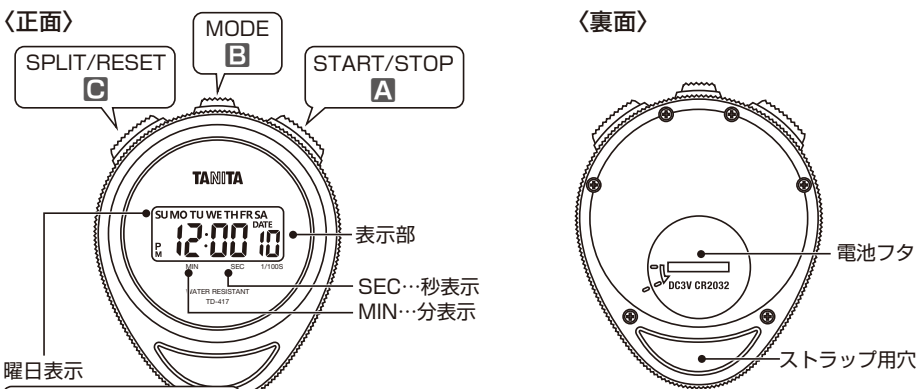
- ストラップの左右の留め具を、2つに折るよう力を加える。
- 留め具が2つに分かれる。
- 留め具からひもを引き出し、新しい結び目を作る。
余分なひもは切り取る。
- 左右の留め具をしっかりと合わせる。
※危険防止のため、留め具に強い力が加わると外れる構造になっています。
※留め具を合わせる際、指をはさまないように注意してください。けがのおそれがあります。

仕様

計測範囲	最大23時間59分59秒
計測単位	30分まで1/100秒、30分経過後1秒
時計精度	月差±30秒以内(常温)
日時・時刻	年・月・日・曜・時刻(12/24時間表示)
アラーム	時刻アラーム 約60秒(1分単位)
スヌーズ機能	5分間隔で繰り返す
時報	毎正時(00分)
使用温度範囲	0~40℃
防水性能	防滴(IPX2相当)*
電池源	DC3V(CR2032コイン形リチウム電池×1個)
電池寿命	約2年(1日30分連続使用した場合)
主な材質	ABS、PMMA
付属品	取扱説明書(本書)保証書付 お試用電池(CR2032コイン形リチウム電池×1個) ストラップ(1本)

*IPX2とは、「4方向(前後左右)に15度傾け、上方200mmの高さから毎分3mmの降水量で、各方向に2.5分間づつ滴下させても有害な影響がないもの」というJIS C 0920の規格です。

各部の名称



付属品

- 取扱説明書(本書)保証書付
- お試し用電池(CR2032コイン形リチウム電池×1個)
- ストラップ(1本)

※付属の「お試し用電池」は工場出荷時に納められたものですので、寿命が短い場合があります。
※不足しているものがございましたら、弊社お客様サービス相談室にご連絡ください。

表示モードを切り替える

目的に合わせて、表示モードを切り替えてご使用ください。

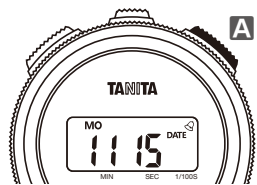
時計表示モード



表示例)午後11時38分28秒月曜日

時・分・秒・曜日が表示されます。
別モードが表示されている場合は、時刻が表示されるまでBを押してください。
※時刻の設定は「時刻・カレンダーを合わせる」をご参照ください。

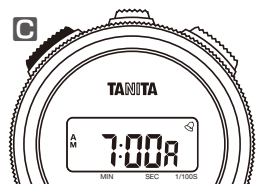
カレンダー表示モード



表示例)11月15日月曜日

時計表示モードでAを押している間は、月・日・曜日・DATEが表示されます。
※カレンダーの設定は「時刻・カレンダーを合わせる」をご参照ください。

アラーム時刻表示モード



表示例)午前7時にアラームをセット

時計表示モードでCを押している間は、アラームセット時刻が表示されます。
(マークR午前、P午後、H 24時間表示)
※アラームの設定は「アラーム時刻をセットする」をご参照ください。

ストップウォッチ表示モード



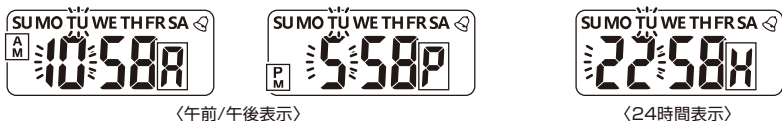
時計表示モードでBを押すと、ストップウォッチ表示モードに切り替わります。
※SU・FR・SAが点滅します。
※使い方は「ストップウォッチを使う」をご参照ください。

時刻・カレンダーを合わせる

TUが点滅するまでBを繰り返し押してください。秒表示が点滅したら、Aで数値を合わせます。Cを押すと秒表示が確定し、分表示が点滅します。以降同様に設定してください。
※設定が完了したら、Bを押して時計表示モードに戻してください。



・「時」の設定では「午前/午後表示」から「24時間表示」の順に選択できます。



- ・秒以外はAを1回押すと1進み、長押しで早送りになります。
- ・曜日はAを押すごとに右に1つ移動します。
- ・カレンダーの設定時、2月は28日までしか表示しませんので、うるう年の場合は修正してください。

ストップウォッチを使う



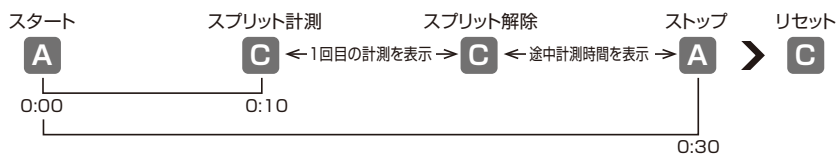
計測30分未満 分 秒 1/100秒
計測30分以上 時間 分 秒

SU, FR, SAが点滅するまでBを押してストップウォッチ表示モードにしてください。
数字が表示されている場合は、Cを押して表示を「0:00.00」にしてください。

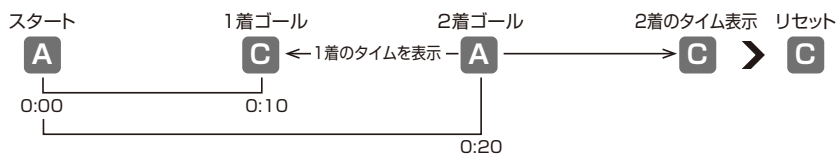
通常計測



スプリット計測(途中経過時間)



1着、2着のタイムの計測



ストップウォッチ機能において、各動作時に以下の表示が点滅します。

通常計測		スプリット計測		1着、2着のタイムの計測	
計測中	SU, SA	計測中	SU, SA	1着タイム計測中	SU, SA
		スプリット計測中	解除前	SU, TH, SA	1着ゴール
解除後	SU, SA		2着ゴール	SU, TH, FR, SA	
ストップ	SU, FR, SA	ストップ	SU, FR, SA	2着タイム表示時	SU, FR, SA

アラーム時刻をセットする

アラーム時刻をセットすると、セットした時刻に60秒間アラームが鳴ります。
アラームは分単位でセットできます。

セットする



※時設定が完了するとCが表示されます。

MOが点滅するまでBを繰り返し押してください。MOが点滅すると時表示が点滅します。Cを押すごとに点滅箇所が「時」設定と「分」設定に切り替わります。
Aを1回押すと1進み、長押しで早送りになります。
※設定が完了したら、Bを押して時計表示モードに戻してください。

アラームのストップとスヌーズ機能

アラームのストップ

・Cを押すと止まります。

スヌーズ機能

・Aを押すといったん止まり、5分後に再び鳴ります。

※Cを押さない限り、アラームは5分おきに繰り返し鳴ります。

アラーム時刻をセット/解除する



時刻表示モード(表示モードを切り替える)でCを押しながらAを押すとアラームのセット/解除を切り替えられます。
※アラームが解除されている場合は、表示されません。

時報をセットする/解除する



時刻表示モード(表示モードを切り替える)でCを押しながらBを押すと時報のセット/解除を切り替えられます。
時報をセットすると、毎正時に時報が鳴ります。

※時報が解除されている場合は、表示されません。